

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（6月）

令和6年6月14日
三八地域県民局地域農林水産部
農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 水稲

(1) 作業進ちょく状況

管内の田植え最盛期は5月20日で平年より2日早かった。

	田植え		
	本年	平年	平年差
始 め（進ちょく率5%）	5/15	5/16	早1日
最盛期（進ちょく率50%）	5/20	5/22	早2日
終わり（進ちょく率95%）	5/30	5/29	遅1日

(2) 本田の生育状況

5月下旬～6月1半旬の低温により一部で代枯れが見られるものの、全体的に生育は順調である。

(3) 今後の対策・指導等

- ①天候に合わせて適正な水管理をする。
(浅水管理による分けつ促進、高温時に適宜水の入れ換え、適期の中干し)
- ②除草剤を適期かつ適正に散布する。
(後発のヒエ及び広葉・多年生雑草の対策)
- ③農作業履歴の記帳をする。
(特に使用農薬の記録)

2 小麦

(1) 生育の状況

生育観測ほの出穂期は5月13日で平年より5日早く、開花期は5月20日で平年より6日早かった。

6月10日の調査では、稈長は79.2cmで平年より長く、穂長は7.9cmで平年より短い。㎡当たり穂数は504本/㎡で平年より多い。

生育観測ほの出穂後の積算温度による予想刈取適期（830～950℃）は、7月2日～7月8日の見込みである（6月10日現在）。

表1 生育観測ほ生育状況（6月10日調査）

調査地：八戸市 市川

年次	は種日	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数 (本/m ²)	出穂期	開花期
本年	10月13日	79.2	7.9	504	5月13日	5月20日
平年	9月27日	76.0	8.3	442	5月18日	5月26日
前年	10月2日	71.8	7.3	383	5月14日	5月22日

※平年は、H28～R5年の平均値。稈長、穂長、穂数の平年値は収穫時の調査結果をもとにした参考値。

(2) 今後の対策・指導等

品質が低下しないよう適期に刈取りを行う。

3 大豆

(1) 作業進ちょく状況

①八戸市 市川地区大豆転作営農組合

播種は5月下旬から行われ、6月上旬に終了した。

②五戸町 農事組合法人くらいし

播種は6月5日から行われ、6月10日頃終了の見込みである。

II 野菜

1 ながいも

(1) 生育、作業の状況

生育観測ほの植付けは、平年より15日遅い5月20日に行われた。6月10日現在、萌芽していない状況となっている。

一般ほ場の植え付け作業は、最盛期を迎えている。

(2) 今後の対策・指導等

①ほ場周辺の明きょなど排水対策を実施する

②支柱立て・ネット張り作業を順次行う。

③種いもほ場を中心に、アブラムシ類の防除を徹底する。

2 ねぎ

(1) 生育の状況

生育観測ほの生育は、草丈77.4cm(平年比109%)、茎径16.1mm(平年比96%)となっている。

病害虫はさび病、ハモグリバエの産卵痕や食害がみられるが発生量は少ない。

一般ほ場の生育は概ね順調である。

表2 県生観ほ生育状況（6月10日現在）

調査地：八戸市是川

年 度	定 植 期					6月10日現在 (本年調査日：6月10日)	
	品 種 名	は種期 (月日)	育苗 状況	定植期 (月日)	活着 状況	草丈 (cm)	茎径 (mm)
本 年 (平年比)	夏扇パワー	12/25 遅5日	良	4/4 遅11日	良	77.4 109%	16.1 96%
平 年	夏扇パワー	12/20	—	3/24	—	70.7	16.7
前 年	夏扇パワー	11/26	良	3/19	良	60.9	16.0

※ 平年（H26～R5）

(2) 今後の対策・指導等

- ①今後、べと病や葉枯病などの病害、ネギアザミウマなどの害虫が発生しやすい時期を迎えるので、防除を徹底する。
- ②培土は、太さを確認しながら、高温の時間帯を避け、早朝に実施する。

3 にんにく

(1) 生育の状況

6月10日現在の県及び地区生育観測ほの生育は、地上部の生育は概ね平年並みから下回る状況であり、地下部は、平年を上回っているが、尻止まりはほ場によるバラツキが見られる。

病害は、春腐病、さび病、黄斑病、葉枯病の発生がみられており、黄斑病・葉枯病が拡大しているほ場もある。また、一般ほ場の一部では黒腐菌核病の発生がみられている。虫害は、ネギコガによる食害がみられるほ場がある。

りん片分化期後の積算気温による予測では、収穫時期は、平年より7～10日程度早まると見込まれる。

(2) 今後の対策・指導等

- ①病害虫の発生が認められるほ場では、収穫前日数、総使用回数に注意しながら防除薬剤を選択し、早期の枯れ上りを防止するため防除を徹底する。
- ②ほ場ごとに必ず試し掘りを行い、適期に収穫する。
- ③収穫前に乾燥設備を点検するとともに、温度、通風、換気の3つのポイントをおさえて、しっかりと乾燥させてから、種子用と販売用に分けて保管する。

表4 生育観測ほ調査結果（6月10日：20株調査、球重・球径は4株調査）

調査地点	マルチ	年次	品種系統	植付日	りん片 分化期	草丈	生葉数	莖径	球径	球重
						(cm)	(枚)	(mm)	(mm)	(g)
五戸 (上兎内)	グリーン	本年	白玉王	10月3日	4月14日	79.4	7.9	20.5	66.0	97.5
	—	平年比	/	—	1日早い	97%	95%	101%	103%	94%
	—	平年	/	9月29日	4月15日	81.7	8.3	20.2	63.9	104.1
	グリーン	前年	白玉王	10月1日	4月9日	84.1	7.9	20.9	68.7	117.5
旧倉石 (又重)	グリーン	本年	在来種	10月2日	4月15日	81.7	7.2	16.8	64.9	100.0
	—	平年比	/	—	平年並	93%	87%	89%	105%	106%
	—	平年	/	9月30日	4月15日	88.0	8.3	18.8	61.7	94.7
	グリーン	前年	在来種	9月26日	4月10日	84.9	6.6	18.1	63.4	106.0
新郷 (扇ノ沢)	グリーン無穴	本年	福地ホワイト	10月5日	4月15日	77.7	7.6	18.3	64.9	98.0
	—	平年比	/	—	2日早い	96%	93%	96%	108%	110%
	—	平年	/	10月3日	4月17日	80.8	8.2	19.0	59.9	89.2
	グリーン無穴	前年	在来種	10月2日	4月11日	86.7	8.1	21.0	63.7	99.5
田子 (日ノ沢)	グリーン	本年	白玉王	9月30日	4月14日	85.3	8.1	18.6	67.2	117.9
	—	平年比	/	—	3日早い	105%	100%	100%	110%	131%
	—	平年	/	10月6日	4月17日	81.0	8.1	18.6	61.0	89.7
	グリーン	前年	白玉王	10月2日	4月10日	84.7	7.2	16.8	62.8	99.6

注) 平年値について

五戸：H26年～R5年までの過去10年間の平均値（参考値：R3から調査地点変更）

旧倉石：H26年～R5年までの過去10年間の平均値

新郷：H26年～R5年までの過去10年間の平均値

田子：H26年～R5年までの過去10年間の平均値（黒マルチのR2年は除く）

表5 生育観測ほ病害発生程度調査結果（6月10日）

場所	春腐病	さび病	葉枯・ 黄斑病	欠株
五戸	1%	6%	1%	2%
旧倉石	0%	0%	0%	2%
新郷	0%	4%	24%	0%
田子	0%	0%	1%	1%

4 トマト

生育観測ほの定植期は5月6日で、平年より8日早かった。定植前の気温が高めに経過し、地温が確保できたため、活着は良好であった。

第1花房の着果節位は7.1節で、過去5か年平均（7.8節）と同等であった。1段目の開花期は、5月21日で、平年より6日早く、現在は3段目の開花中である。病虫害の発生は特にみられない。

一般ほ場では、5月第5～第6半旬は平均気温が平年を下回ったものの、適切な保温対策により、定植後の活着及び初期生育は概ね良好となっている。一部のほ場でトマトキバガの被害がみられている。

表6 県生観ほ生育状況

調査地：三戸町斗内

年 度	品 種 名	定植期 (月日)	育苗・活着	1 段花房	
				開花期(月日)	着果数(個)
本 年 (平年比)	りんか409 (自根)	5/6 (8日早)	良好	5/21 (6日早い)	— (—%)
平 年	りんか409	5/14		5/27	3.9
前 年	りんか409	5/10	良好	5/17	4.3

(2) 今後の対策・指導等

- ①樹勢や天候に応じたかん水や、追肥を実施する。
- ②高温や湿度が高い時は積極的に換気する。
- ③定期的な病害虫防除を実施する。